

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 1 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行わないケアを遂行できているか、見直す機会を設ける。	認知症の行動や心理症状(BPSD)に及ぼす影響の知識を深め、身体拘束を行わないケアの実践を継続する。	身体拘束の弊害、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を、職員会議において職員間で再確認する。事業所内で行われる、勉強会や研修に参加し、身体拘束を行わないケアの実践継続に努める。	6ヶ月
2	33	終末期の支援体制の確立。	重度化してくる中、利用者の希望に沿える支援体制を作る。	体調の変化により重度化した場合、利用者のご家族の希望に沿うことができるよう、終末期における事業所の方向性を確認し、職員間で共有する。他事業の看取り指針の基づき、内容について検討する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。